



読売国際漫画大賞ジュニア入選
大谷 弘樹さん(12)
総社町高井

満足する絵でなかったけど

七十二の国と地域から、八千点以上もの応募があった「第二十六回読売国際漫画大賞」のジュニア部門で、二度目の入選を果たした。

「四回目の応募でしたが、それほど自信もなかったのですが、あの絵が入選するなんて思っていませんでした。だから、入選したと連絡を聞いてちよつと驚いたけれど、うれしかったよ」

作品は四コマの水彩画で、タイトルは「頭を使え」。海で遭難した男の人が無人島へたどり着き、ノコギリザメの歯を使って木を切り、いかだを作つて帰るつとする姿を描いた。



「小四のころ、小説を読んで感動したことを思い出して、漫画にし

たんです。遭難した男の人の表情や動きが難しく、何回か書き直しました。完成するまで三週間くらいかかったかな。でも、なかなか満足する絵にはなりませんでした」

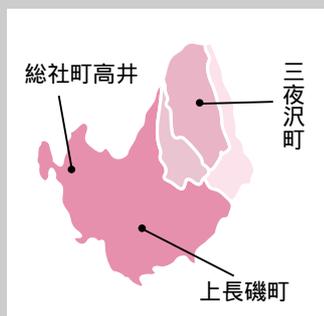
現在、勝山小の六年生。いとこに誘われて、小一のとぎから近所の絵画教室に通うようになった。

「初めは、特に絵を描くことが好きではなかったけれど、教室に通っているうちに、だんだんと面白くなってきました。絵のほかに好きなのはサッカーです。少年チームに入つて、毎週一回、練習しています。ポジションはディフェンダー。将来はサッカー選手になることが夢かな」

元気で明るい男の子。個性を大きく伸ばしながら、たくましく成長してほしい。

ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。



良い一年を願い 新年を祝う

永明地区

一月一日、上長磯町で新年賀詞交歓会が行われました。今年で四回目の行事です。朝、町内の稲荷神社で拝賀式を行い、今年一年の無病息災を祈願。その後、町公民館へ移動して「明けましておめでとう」「今年もよろしくお願いします」と新年のあいさつを交わり、にぎやかに歓談しました。



同町の下境敏英自治会長は、「昨年は、日本や世界各地で災害や事件の多い年でしたが、今年はみんなが健康で安心して暮らせる一年になってほしいですね」と話していました。

まちなりの ニュース

伝統の神社 雪の初詣で

宮城地区



三夜沢町にある赤城神社は初詣での人たちで大にぎわい。三日で例年よりは少ないながらも、二万人を超える人出がありました。

赤城神社は県内に百十八社、全国に三百三十四社ありますが、この三夜沢の神社がその総本社。上野国三天神社でもあります。

元日は、前日に積もつた雪が残る中、境内では氏子に甘酒が振る舞われたほか、参道には屋台が並び、温かい物が訪れた人たちの寒さを和らげてくれます。参拝者たちは思い思いの願いを込め、手を合わせていました。